

2025秋

高校生のための

大阪大学

人文・社会科学系講義

8/21(木) 締切!

参加者募集!!※先着15名

2025年9月13日(土)12時~16時 開催!!

※11時半~受付開始

講義1

「懐徳堂と適塾： 大阪大学の知的背景」

宇野田 尚哉

大阪大学大学院人文学研究科教授
大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 副拠点長

講義2

「日本語が話せるということ」

宮本 陽一

大阪大学理事・副学長
大阪大学グローバル日本学教育研究拠点長

見学会 懐徳堂旧址碑・適塾

※講義後に移動して見学し、現地解散します。

野村 玄

大阪大学大学院人文学研究科教授
大阪大学適塾記念センター兼任教員

参加方法：高校生を対象として参加者募集。



←Formsよりお申込みください。(先着順15名程度)

(<https://forms.office.com/r/CHWW81faRG>)

※ただし参加者が特定の高校に偏らないよう調整させていただきます。

※締切は8/21(木)ですが、定員に達し次第、募集を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

※申込者1名につきお一人の同伴者を受け付けますので、ご家族・ご友人などとお誘いあわせうえお申込みください。

会場：大阪大学中之島センターセミナー室7B ※京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分

費用：無料 ※ただし、見学会会場までの移動に係る経費(230円)は自己負担(京阪中之島駅~大江橋駅)



大阪大学グローバル日本学教育研究拠点

The University of Osaka Global Japanese Studies Education and Research Incubator

「日本」に関わる教育・研究の領域において全国有数の人的リソースを擁する大阪大学では、人文・社会科学系の諸部局を横断するかたちでグローバル日本学教育研究拠点を設置し、当該領域の教育・研究の学際的・国際的・社会学連携的展開に努めています。

このたび、本拠点では、本学人文・社会科学系の研究成果を日本社会、とりわけ次代を担う若い人びとに向けて還元すべく、「高校生のための大阪大学人文・社会科学系講義」を開講することといたしました。

第1回の開催となる2025年秋は、大阪大学の知的背景を知っていただきつつ、最先端の研究成果に触れていただく機会として、下記の先生方の講義と見学会を準備いたしました。奮ってご参加ください！

講師紹介



宮本 陽一 大阪大学理事・副学長
大阪大学グローバル日本学教育研究拠点長

ジョージタウン大学大学院（アメリカ）修士課程修了（M.S）。
コネチカット州立大学大学院（アメリカ）博士課程修了（PH.D.）。
大阪大学理事・副学長、（兼）大阪大学大学院人文学研究科教授。研究分野は言語学。
2017年7月、日本語科学会JCHAT賞（優秀論文賞）受賞。



宇野田 尚哉 大阪大学大学院人文学研究科教授
大阪大学グローバル日本学教育研究拠点 副拠点長

大阪大学文学部卒業、大阪大学大学院文学研究科単位修得退学。博士(文学)(大阪大学)。
神戸大学国際文化学部講師、同大学大学院国際文化学研究科准教授、大阪大学大学院文学研究科准教授、同教授を経て、2022年4月より現職。
研究分野は思想史。



野村 玄 大阪大学大学院人文学研究科教授
大阪大学適塾記念センター兼任教員

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)(大阪大学)。
防衛大学校講師、同准教授、大阪大学大学院文学研究科准教授、同人文学研究科准教授を経て、
2025年1月より現職。
研究分野は日本近世史。

懐徳堂

懐徳堂は、享保9年（1724）に、三宅石庵を師と仰ぐ大坂の町人たちによって創建された学問所です。享保11年（1726）には幕府の官許を得て官許学問所懐徳堂となり、18世紀の後半には、西日本の学問的ネットワークの最も重要な結節点となりました。この時期の懐徳堂は、中井竹山・履軒兄弟や、山片蟠桃など、すぐれた学者を輩出しており、今回訪問する懐徳堂旧趾碑はその跡地に建てられています。

懐徳堂は、明治2年(1869)に閉校しましたが、明治末年には復興運動が起こり、大正5年（1916）には財団法人懐徳堂記念会により校舎が再建され、昭和20年（1945）の大阪空襲により焼失するまで、大阪市民が和漢の古典などを学ぶことのできる場として親しまれました。幸いに焼失を免れた蔵書数万点は、昭和24年（1949）の文学部設立を機に大阪大学に寄贈されました。大阪大学は、懐徳堂とその復興を志した人びとの精神を受け継いで、現在に至っています。



適塾

適塾は、蘭方医緒方洪庵（1810-1863）が天保9年（1838）に大坂に開いた蘭学塾です。蘭医学研究の第一人者であった洪庵は、西洋医学の研究をはじめ、種痘事業やコレラ治療などにおいて、医学史上顕著な業績を遺しました。

また、洪庵のもとでは、千人を超える門人たちが、オランダ語の学習を基礎として医学をはじめとする西洋の学問を学び、適塾は、福沢諭吉・大村益次郎・長与専斎・箕作秋坪など、幕末から明治にかけて近代日本の建設に貢献した多くの人物を輩出しました。

明治2年（1869）に洪庵の次男緒方惟準を院長として設立された大阪仮病院、オランダ人医師ボードウィンを迎えて適塾門人を中心に創立された大阪医学校は、のちに大阪帝国大学医学部へと発展し、今日の大阪大学へと至ります。

今回見学する適塾は、現存する唯一の蘭学塾の遺構としても、当時の大坂の町屋の姿を伝えているという点でも、きわめて貴重な建物であり、国の重要文化財に指定されています。昭和17年（1942）に当時の大阪帝国大学に寄付され、現在は大阪大学が管理しています。

